

# 総務委員会資料

## 1 所管理事者の紹介及び事業概要の説明

資料1 経済労働局管理職一覧

資料2 経済労働局機構及び事業概要

参考資料 令和5年度経済労働局主要事業について

経済労働局

令和5年6月1日

# 経済労働局管理職一覽

資料 1

経済労働局長

久万 竜司 28000

産業政策部長

若松 秀樹 28100

庶務課長

佐藤 一憲 28101

企画課長

勝山 慶一 28201

消費者行政センター室長

石渡 祐一郎 54800

経営支援部長

澤田 尚志 28600

経営支援課長

加藤 行一郎 28601

担当課長〔国際経済〕

野村 有紀子 28301

担当課長〔事業承継〕

木村 佳司 28303

金融課長

一ノ瀬 進 544-1845

中小企業溝口事務所長

勝盛 紀善 812-1112

観光・地域活力推進部長

浜口 哲也 28400

担当課長

園田 健太 28702

〔観光プロモーション推進〕

担当課長

御簾納 誠 28703

〔地域活性化〕

担当課長

池田 昌弘 28701

〔商業・サービス業振興〕

イノベーション推進部長

田邊 聡 28300

担当課長

末繁 泰弘 28302

〔成長産業〕

担当課長

藤本 順也 28304

〔創業・ベンチャー産業創出〕

担当課長

米村 久幸 28603

〔グリーンイノベーション〕

労働雇用部長

東 哲也 28800

担当課長

齋藤 正巳 28801

〔労政・働き方改革・生産性向上〕

担当課長〔雇用〕

鈴木 勇二 28802

公営事業部長

倉 雅彦 54826

総務課長

山本 武 54826

業務課長

鈴木 智広 54827

都市農業振興センター所長

齋藤 徳明 860-2462

農業振興課長

伊東 大介 860-2462

農地課長

井上 久子 860-2461

農業技術支援センター所長

久延 一郎 945-0153

中央卸売市場

北部市場長

松川 哲司 975-2200

担当課長〔北部市場調整〕

細井 多 975-2225

担当課長〔南部市場調整〕

佐藤 忠光 975-2226

管理課長

山根 崇友紀 975-2208

業務課長

齊藤 憲悟 975-2229

神奈川県川崎競馬組合派遣

経済労働局担当部長

長 浩 233-6705

○産業政策部

所 属	事 業	主な事業内容
庶務課	(1)局の人事、予算及び決算 (2)局内の連絡調整及び事務改善 (3)局事業の統計及び資料収集 (4)局内他の課の主管に属しないこと (5)局民間活用事業者選定評価委員会	
企画課	(1)局主要事業の企画、調整及び進行管理 (2)地域経済に関する情報の収集及び分析 (3)産業振興協議会 (4)公益財団法人川崎市産業振興財団	ア 中小企業活性化の取組の推進及び進捗管理  (ア)「かわさき産業振興プラン第3期実行プログラム」に基づく施策の展開による、中小企業活性化の取組の推進  (イ)「川崎市中小企業活性化のための成長戦略に関する条例」に基づくPDCAでの進捗管理
消費者行政センター	(1)消費者行政に係る施策の企画、調査及び調整 (2)消費生活に係る事業者の指導 (3)消費生活及び物価の情報収集、情報提供及び意識の啓発 (4)消費生活に係る相談及び消費者訴訟の援助 (5)消費者行政推進委員会 (6)消費者団体の育成 (7)生活関連物資等の緊急対策 (8)計量検査所との連絡調整	ア 消費者自立支援の推進 消費者行政の方針を定めた「川崎市消費者行政推進計画」に基づく事業の実施  イ 消費生活相談の情報提供 消費者被害の未然防止や消費生活に係る相談への対応  ウ 消費者の意識啓発 悪質商法の注意喚起や講座等の実施による消費者教育の推進
計量検査所	(1)所の維持管理 (2)所の市税外収入 (3)計量意識の啓発 (4)計量管理 (5)計量関係団体との連絡調整 (6)量目検査及び指導 (7)計量器の検査及び取締り (8)計量器に係る異議申立て及び再検査	ア 計量法に基づく、適正な計量の確保  計量法に基づき、適正な計量を確保するため、商品量目の立入検査などの実施

○経営支援部

所 属	事 業	主な事業内容
経営支援課	(1) 課の市税外収入 (2) 産業振興施策の推進（観光・地域活力推進部及びイノベーション推進部の所管に属するものを除く。） (3) 商工業関係団体等との連絡調整（観光・地域活力推進部の所管に属するものを除く。） (4) 中小企業等の経営革新 (5) 中小企業等の経営の相談及び調査研究（観光・地域活力推進部の所管に属するものを除く。） (6) 企業誘致 (7) 産業立地の指導及び誘導 (8) 海外との産業交流の促進 (9) 国際経済及び貿易の振興 (10) 産業振興会館	ア 中小企業デジタル化の支援 中小企業の事業の再構築や新たなビジネス展開の実現を図るため、デジタル技術を活用したDXに資するモデル事業の開発・実証に係る費用等の支援 イ 操業環境の保全 本市への立地意欲のある市内外の企業や市内工業用物件に関する調査、工業用物件を取り扱う宅地建物取引業者とのネットワークを構築する取組等の実施 ウ 海外展開の支援 市内中小事業者が海外需要を積極的に取り込んで成長につなげていけるよう、専門のコーディネーターによる相談対応や海外現地企業等とのビジネスマッチング、海外の展示会出展などの支援の実施 エ 事業承継・事業継続力強化の支援 中小企業の後継者不在や頻発する災害等に対応するため、セミナーの開催、専門家派遣、補助金制度、事業承継を見据えた小規模事業者の経営力向上に向けた伴走支援などの実施
金融課	(1) 中小企業等の金融制度の企画及び金融対策 (2) 中小企業等の金融の相談、調査及び指導 (3) 川崎市信用保証協会 (4) 中小企業溝口事務所との連絡調整	ア 中小企業の円滑な資金調達の仕組み構築及び運用 (ア) 川崎市信用保証協会が中小企業の公的な保証人となることにより、円滑な資金調達の仕組みの構築 (イ) 預託や信用保証料補助を行い、川崎市信用保証協会及び取扱金
中小企業溝口事務所	(1) 中小企業の経営相談及び金融相談 (2) 中小企業の経営改善のための調査研究	

		<p>融機関と協調して間接融資である制度融資の運用</p> <p>イ 金融相談への対応等 セーフティネット保証制度の認定業務や特別相談窓口の設置、融資等に関する相談への対応</p>
--	--	--

○観光・地域活力推進部

所 属	事 業	主な事業内容
観光・地域活力推進部	(1) 観光施策の推進 (2) 商業振興施策の推進 (3) 商業関係団体との連絡調整 (4) 大規模小売店舗の立地 (5) 中小企業等の経営相談及び調査研究（経営支援部の所管に属するものを除く。） (6) 観光振興計画推進委員会 (7) 大規模小売店舗立地審議会 (8) コンベンションホール (9) 川崎アゼリア株式会社	<p>ア 産業観光の推進 産業観光ツアーや工場夜景ツアーの実施、教育旅行の誘致</p> <p>イ 外国人観光客の誘客促進 キャッシュレスデータを活用した外国人観光客の動態分析、ナイトタイムエコノミーの推進</p> <p>ウ 「市制記念多摩川花火大会」及び「かわさき市民祭り」の開催 「市制記念多摩川花火大会」は10月21日に、「かわさき市民祭り」は11月上旬に、開催予定</p> <p>エ 商店街やエリアの魅力を高めるイベント事業等の支援 地域の活性化や魅力ある商業地域の形成を図るため、商店街等が実施するイベントや課題解決の取組等支援の実施</p> <p>オ 意欲ある事業者の発掘・育成等の支援            (ア) 次世代の事業者を発掘・育成する「かわさき店舗出店支援プログラム（NOREN）」の実施            (イ) 事業者の認知度向上を目的とした「かわさきAKINAI AWARD」の実施</p> <p>カ 川崎市コンベンションホールの管理運営 企業・研究機関・市民等の多様な主体が交流する機会を創出し、地域経済の活性化等の推進</p>

○イノベーション推進部

所 属	事 業	主な事業内容
イノベーション推進部	<p>(1) 部の市税外収入</p> <p>(2) 起業及び創業の促進</p> <p>(3) 成長産業の創出及び育成</p> <p>(4) 新川崎・創造のもり</p> <p>(5) 科学技術振興に係る施策の推進</p> <p>(6) 環境産業振興施策の推進</p> <p>(7) かわさき新産業創造センター</p>	<p>ア ウェルフェアイノベーションの推進</p> <p>「カワサキ ウェルフェア テクノロジー ラボ(ウェルテック)」を拠点に、東京工業大学及び産業技術総合研究所と連携し、企業の伴走支援や福祉製品・サービスの創出支援等の実施</p> <p>イ 起業・創業の支援を行うワンストップ拠点の運営</p> <p>「カワサキ-NEDOイノベーションセンター (K-N I C)」において、起業初期段階の研究開発系ベンチャー企業等に対する支援の実施</p> <p>ウ 新川崎・創造のもりにおけるオープンイノベーションの推進</p> <p>(ア) 新たな産業の創出や新製品の開発を促進するため、KスクエアタウンキャンパスやK B I C等を拠点としたオープンイノベーションの推進</p> <p>(イ) 4大学ナノ・マイクロファブリケーションコンソーシアムとの産学連携による研究開発の促進</p> <p>エ 量子イノベーションパークの形成</p> <p>(ア) 量子コンピューターを使いこなす人材育成サマーキャンプの実施</p> <p>(イ) 国の大型プログラムを活用した、量子分野の新産業創出の取組の推進</p>

		<p>オ グリーンイノベーションの推進 川崎国際環境技術展やかわさき グリーンイノベーションクラス ターを通じた、環境産業の振興</p> <p>カ ESGファイナンスの促進 (ア)環境、社会、ガバナンスを考慮 した経営を促すことを目的とし たモデル事業の実施 (イ)地域金融機関を対象に、ESG 投融資研究会の開催</p> <p>キ SDGs経営の普及・啓発 セミナーなどの実施による基本 的な知識の習得から経営相談まで を一貫して支援</p>
--	--	--



○労働雇用部

所 属	事 業	主な事業内容
労働雇用部	(1) 労使団体及び関係官公署との連絡調整 (2) 労働資料の調査及び刊行 (3) 雇用対策 (4) 勤労者福祉の推進及び啓発 (5) 中小企業等の働き方改革及び生産性向上 (6) 技術技能の奨励及び振興並びに育成継承 (7) 勤労者福祉共済事業 (8) 勤労者福祉共済運営協議会 (9) かわさきマイスター選考委員会 (10) 生活文化会館 (11) 労働会館	<p>ア 就業の支援</p> <p>(ア) 「キャリアサポートかわさき」による求職者の就業支援と企業の人材確保を一体的に実施</p> <p>(イ) 「コネクションズかわさき」による職業的自立支援</p> <p>(ウ) J F E スチール株式会社の高炉等休止に係る雇用支援</p> <p>イ 技能の奨励</p> <p>市内最高峰の技術・技能者を「かわさきマイスター」として認定</p> <p>ウ 勤労者福祉対策・労働相談</p> <p>市内2か所での労働相談窓口(専門相談員・社会保険労務士)の設置</p> <p>エ 勤労者福祉共済</p> <p>市内中小企業で働く従業員の福利厚生の実施</p> <p>オ 労働会館の再編整備</p> <p>これまでの経過を踏まえ、供用開始に向けて、ハードとソフトの一体的な整備の推進</p> <p>カ 働き方改革・生産性向上推進</p> <p>中小企業の新しいワークスタイル、成長戦略の実現に向けて、幅広い業種を対象とした支援の推進</p>

○公営事業部

所 属	事 業	主な事業内容
公営事業部総務課	(1) 競輪事業の企画 (2) 競輪開催収支の経理及び決算 (3) 競輪事業収入の徴収 (4) 競輪場施設の維持管理 (5) 神奈川県川崎競馬組合との連絡調整 (6) 競馬の指定申請	ア 競輪事業 (ア) GⅢレースやミッドナイト競輪等の開催 (イ) 自転車スポーツの振興・普及、競輪の社会的認知度の向上
公営事業部業務課	(1) 競輪の開催計画及び執行 (2) 競輪の制裁審議 (3) 競輪関係団体との連絡調整 (4) 場外車券売場 (5) 従事員の労務管理	

○都市農業振興センター

所 属	事 業	主な事業内容
農業振興課	(1)課の市税外収入 (2)農業振興計画 (3)農業生産振興 (4)水産 (5)森林 (6)農業関係団体及び畜産関係団体との連絡調整 (7)農業振興計画推進委員会 (8)農業技術支援センターとの連絡調整	ア 地産地消の推進 市内農産物の認知度向上や市内消費促進に向けた取組の実施  イ 農業の担い手育成 新規就農者の育成対策をはじめ、地域を牽引する認定農業者等への設備投資の支援
農地課	(1)課の市税外収入 (2)農業委員会 (3)農業振興地域の整備計画 (4)農業生産基盤の整備及び農業用水の利用調整 (5)生産緑地 (6)農地法 (7)農地の利用調整 (8)農業委員会委員選考委員会	ア 農業委員会の運営 農地の売買や貸借の許可等の行政事務  イ 農地の適正利用対策 違反転用の解消や未然防止に向け、関係局や県、警察等と連携した、継続的な指導の実施  ウ 特定生産緑地の指定 特定生産緑地制度の周知、J A セレサ川崎等との連携による意向確認など、指定の推進
農業技術支援センター	(1)センターの維持管理 (2)センターの市税外収入 (3)農業生産振興（農業振興課振興係の所管に属するものを除く。） (4)農産物の生産に係る相談、指導、試験研究及び技術的支援 (5)農産物の生産に係る技術の向上を図るための講習会、研究会等の開催 (6)農産物の生産に係る技術に関する情報の収集及び提供 (7)果樹、野菜及び花き（以下「果樹等」という。）の優良な品種の普及並びに果樹等の品種の保存 (8)農業に対する理解を深めるための講習会、研修会等の開催 (9)農産物の生産活動を支援するためのボランティアの養成	ア 農業経営支援 農業者による温室や多目的防災網等の施設・設備の設置に対する補助等の実施  イ 農業技術支援 環境に配慮した農薬を使用するなどの環境保全型農業の推進、新品種等の試験研究、ナシの品種保存等の実施

○中央卸売市場北部市場

所 属	事 業	主な事業内容
中央卸売市場 北部市場	(1) 市場の経営企画 (2) 中央卸売市場北部市場の機能更新	ア 北部市場の機能更新 市場会計の健全化等を目的に、
中央卸売市場 北部市場管理 課	(1) 市場の施設整備の計画及び実施 (2) 市場に係る事業の国庫補助等の協議及び手続 (3) 市場の市税外収入 (4) 市場に係る施策の企画及び調整 (5) 市場の経営改善 (6) 市場の維持管理 (7) 市場関係団体との連絡調整 (8) 市場事業の統計及び調査 (9) 中央卸売市場開設運営協議会 (10) 市場施設の指定及び使用許可 (11) 市場内の整理及び取締り (12) 川崎冷蔵株式会社 (13) その他市場内他の課の主管に属しないこと (14) 地方卸売市場南部市場 (15) 地方卸売市場南部市場運営審議会	民間活用を含めた幅広い視点で 課題を整理し、基本計画の策定  イ 南部市場の運営方針の策定 南部市場の抱える課題を踏ま えた、運営方針の策定  ウ 新たな取引ルールの下での指 導・監督 公正な取引を確保しつつ、法改 正による規制緩和を活かし、より 取引しやすい環境の整備
中央卸売市場 北部市場業務 課	(1) 市場関係事業者の業務の許可及び承認 (2) 市場関係事業者の業務の指導監督 (3) せり人の登録等 (4) 出荷者	

COLORS,  
FUTURE!  
ACTIONS  
KAWASAKI 100th



## 令和5年度 経済労働局主要事業について



令和5(2023)年6月

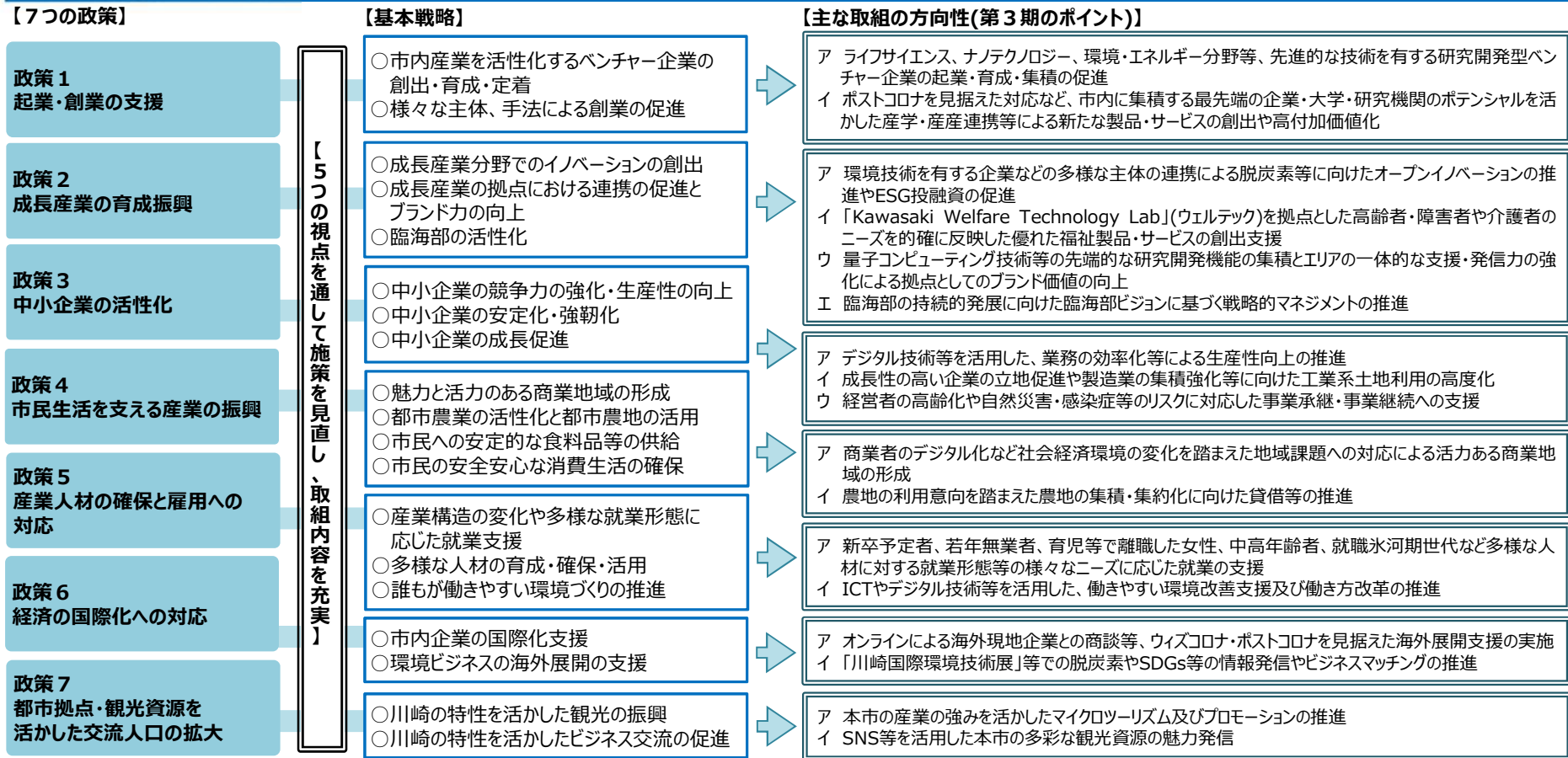
川崎市経済労働局

「かわさき産業振興プラン」の理念である「多様な人材と産業が創り出す、活力と魅力にあふれるオープンイノベーション都市かわさき」の実現に向け、令和4(2022)年度～令和7(2025)年度を計画期間として、「5つの視点」を設定して、「7つの政策」を展開し、市内産業の振興に向けた取組を推進する。

■ 第3期実行プログラムの5つの視点

【視点1】 価値創造と競争力の源泉となるイノベーションの創出と成長の促進	【視点2】 デジタル化やICT活用等による高付加価値化・業務効率化の促進を通じた生産性の向上	【視点3】 多様性を尊重して誰もが活躍する魅力あるワークスタイルの実現	【視点4】 地域の強みや特性を活かした地域経済の安定と好循環の創出	【視点5】 変化に強しなやかな企業づくりの推進
---	---	--	--------------------------------------	----------------------------

■ 第3期実行プログラム



# イノベーション推進部 1 起業・創業の支援

## 市内産業を活性化するベンチャー企業の創出・育成・定着

社会環境の変化に応じた市内産業の活性化を図るため、起業や起業後の成長を促進し、新たな産業の創出を通じた持続的な経済発展により、力強い産業都市づくりの実現につなげる。

### 2023(令和5)年度の取組

川崎市、川崎市産業振興財団、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の3者で運営する起業家支援拠点「Kawasaki-NEDO Innovation Center（K-NIC）」を中心とした起業家・ベンチャー企業支援

#### 1 経過

- 2016(平成28)年6月  
「NEDOとベンチャー企業の発掘・育成等の産業推進協定締結」
- 2018(平成30)年5月  
NEDOと「起業家支援のワンストップ拠点に関する覚書」締結
- 2018(平成30)年12月  
産業振興財団、NEDOと拠点運営に関する覚書等を締結
- 2019(平成31)年3月18日  
起業家支援拠点「Kawasaki-NEDO Innovation Center(K-NIC)」開設

#### 2 施設

- (1) 場所 ミューザ川崎セントラルタワー5階（約570㎡）
- (2) 開設時間 10時から18時
- (3) 休業日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始  
（イベント実施時は臨時開設）
- (4) 対象者  
起業希望段階から起業初期段階が主な対象  
研究開発系の起業家やスタートアップを軸に  
ソーシャルビジネス等幅広い産業分野における  
起業家



#### 3 支援内容

##### 起業相談

- 相談員が起業家の課題、状況をヒアリングし、適切なアドバイスを行うとともに、起業経験者、経営、金融、雇用、知財などのオンライン専門家相談会を実施



##### ビジネスマッチング

- 事業化を目指す起業家と外部機関（金融機関、投資家、研究者、事業会社、官公庁等）とのビジネスマッチングの機会を提供



##### イベント開催

- 起業や経営に関するセミナーのほか、起業家によるピッチイベント、投資家、研究者、事業会社等との交流会などを実施



#### 4 事業実施状況（3月末日時点） ※令和4年度分実績です。

- (1) 会員登録者数 開設累計4,019名
- (2) 利用者数 延べ5,740名（コワーキング利用、リアル・オンラインイベント参加）
- (3) 相談件数 延べ 371件
- (4) イベント開催件数 36件（自主イベント）
- (5) 起業件数 12件
- (6) 資金調達件数 延べ21件

#### 5 支援実績の例

##### 株式会社Lexx Pluss

- メーカーに勤務しながら起業アイデアを思いつき、独自に開発・マーケットリサーチ開始。〈K-NIC〉のコワーキングスペースを利用しながら、スーパーバイザーVC相談などを経てビジネスプランを固める
- その後、会社設立しKBICに入居
- 〈K-NIC〉のVCマッチングなどを活用
- 海外アクセラ採択、プレシリーズAラウンドで資金調達し事業を推進



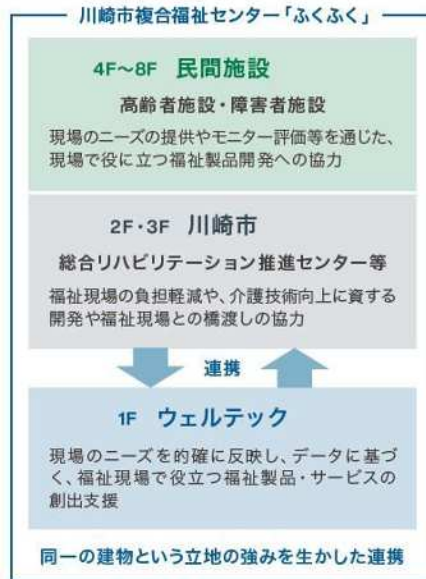


「Kawasaki Welfare Technology Lab (通称：ウェルテック)」の設置・運営

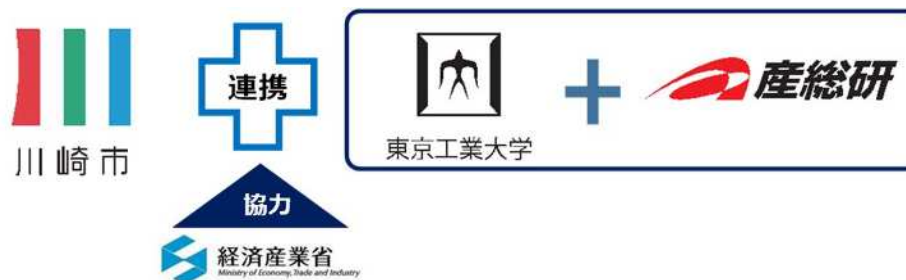
ウェルテックは、福祉施設の居住スペースを想定した「模擬環境ラボ」を備え、市内企業等を中心に福祉製品・サービスの開発を支援



川崎市複合福祉センター「ふくふく」外観写真



令和3年8月、川崎市複合福祉センター「ふくふく」1階にオープン



- ウェルテックは、東京工業大学・産業技術総合研究所・川崎市の3者の連携により運営、また経済産業省が運営に協力
- 東京工業大学・産業技術総合研究所の科学的知見に基づき、安全性・性能・リスク要因の評価を行うなど、市内企業等の福祉製品等の改良・開発に向けた伴走支援を実施

ウェルテック内は福祉施設の居室を模した模擬環境ラボを整備



ウェルテック上層階の高齢者施設の協力を得て、実環境で動画撮影・分析し、検証可能な環境を整備



相談・検証事例：ミリ波レーダー見守り装置（富士通（株））

- 波長が短い「ミリ波」の反射波を解析し、居室内の状態（在不在や転倒有無等）を検知する見守り装置
- ウェルテックの模擬環境ラボ及び上層階の高齢者施設を活用し、見守り装置の検知データと動画で撮影した高齢者の行動データを照合することで機器の検知性能等を検証



ミリ波レーダー装置

【福祉現場と企業をつなぐウェルテックの機能を活かした100周年記念事業】  
高齢者・障害者、支援スタッフ、企業が共につくる福祉製品

- 介護現場や当事者など、多様な立場の人々との「共創」によって、福祉製品・サービスの開発を支援
- 事業費最大200万円までを支援する他、ユーザーや福祉施設等からニーズについてヒアリングする機会の提供、メーカー出身者等による伴走支援、ウェルテックでの安全性・性能の検証等の支援を実施





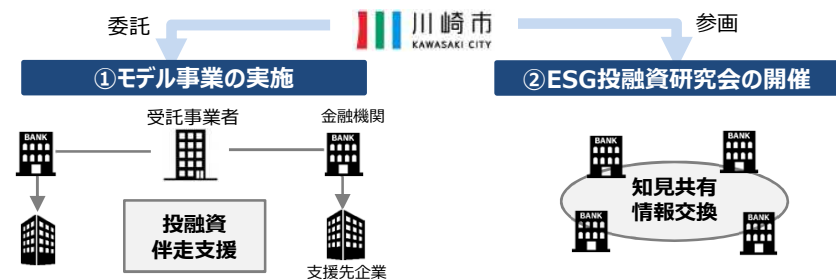
ESG投融资の普及による中小企業への脱炭素経営等の促進や、SDGs経営に関する知識普及・専門家による相談対応等を行うことで、市内産業の脱炭素化の実現や持続可能な発展に向けたグリーンイノベーションを推進する。

2023（令和5）年度の主な取組

ESGファイナンス促進事業

ESG要素を含む金融（ESGファイナンス※）を活用し、環境分野をはじめとするSDGsに資するビジネスを支援することで、地域企業の経営の持続性・競争力強化を図ることを目的に、地域金融機関と連携し、令和4年度にモデル事業者として選定された市内中小企業2社に対して、事業計画、成果指標設定や第三者評価取得等に関する伴走支援を行いながら、ESGファイナンスによる社会的インパクトを安定的な企業経営や企業価値向上につなげることを目指す。また、ESGファイナンスの普及促進を目指し、その有用性を地域金融機関を通じて、市内企業へ波及させるため、金融機関を対象とした「ESG投融资研究会」を発足。

※Environment（環境）、Social（社会）、Governance（企業統治）といった非財務情報を考慮した投融资のこと。



■モデル事業の支援対象企業・事業概要■

企業名	事業概要
岡村建興株式会社 (川崎区) 川崎信用金庫	<p><b>【低炭素コンクリートの製造及びそれを活用した製品の開発】</b>                      建設業界において社会課題化している「戻りコンクリート※」を原料として、脱炭素に資する低炭素コンクリートを製造するための設備を導入し、それを活用した製品を開発する。                      低炭素コンクリート製造及び製品開発に関するビジネスモデルを確立することで、脱炭素及び業界が抱える社会的課題に向けてインパクトを与える。                      ※工事現場等において、使用されずに戻されたコンクリート</p>
株式会社協和商会 (川崎区) 横浜銀行	<p><b>【太陽光パネルリユース・リサイクル事業】</b>                      これからの太陽光パネルの大量廃棄及びそれに伴う有害物質の流出等の環境汚染を鑑み、太陽光パネル全自動解体ライン設備を導入し、その廃棄物のリサイクル等を行う。                      太陽光パネルの循環経済モデルを確立することで、環境負荷削減を含めた社会課題解決へのインパクトを創出する。</p>

SDGs経営普及・啓発事業

【事業概要】

脱炭素をはじめとするSDGs経営を導入し、企業価値や競争力の向上を図るため、SDGsの必要性等を認識されていない企業へのアプローチをはじめ、中長期的な成長を目指す市内中小企業等に対し、SDGs経営の基本的な知識の習得から実践までを一貫して支援する。

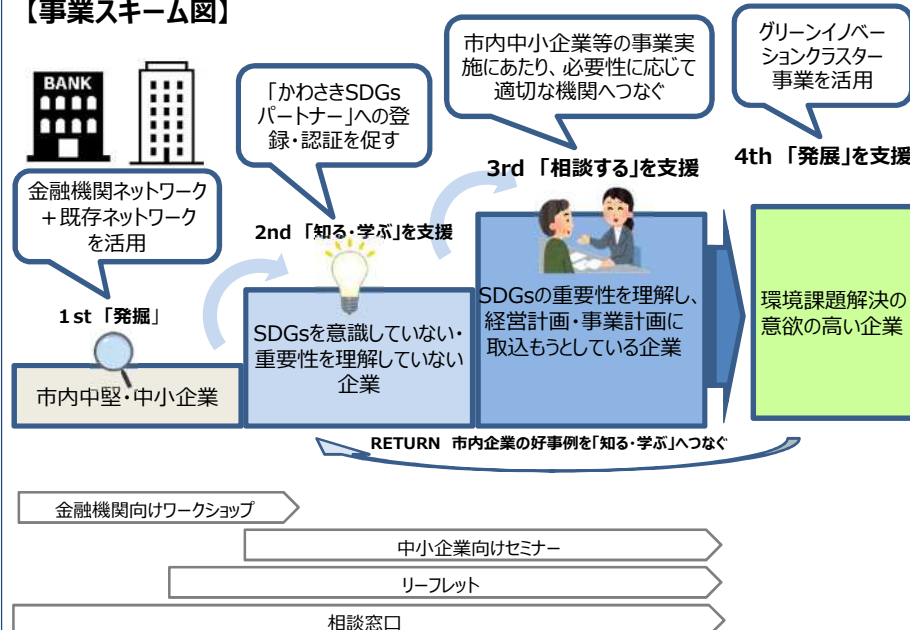
⇒SDGs経営に関するセミナー・ワークショップの開催、事例共有、専門家相談等の実施 を予定

【事業期間】 令和5年4月から令和6年3月まで

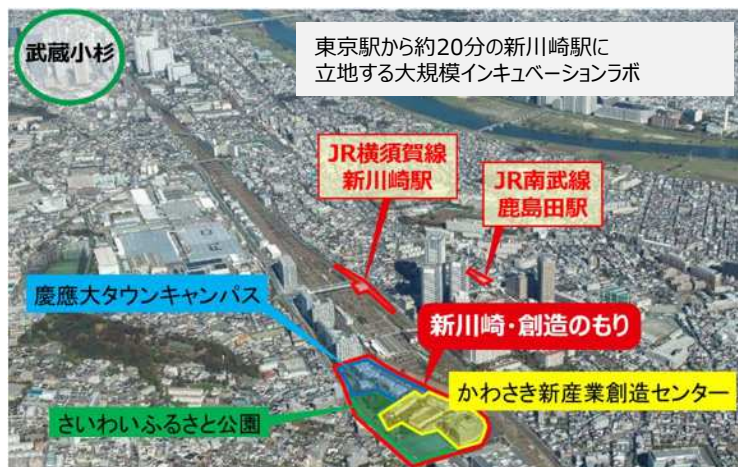
【支援対象】 市内中堅・中小企業

【対象分野】 脱炭素をはじめとするSDGsに関連する分野

【事業スキーム図】



### 【スケールアップ支援】新川崎・創造のもり かわさき新産業創造センター（KBIC）



かわさき新産業創造センター本館  
(KBIC 平成15年開設)



ナノ・マイクロ産学官共同研究施設  
(NANO-BIC 平成24年開設)



産学交流・研究開発施設  
(AIR-BIC 平成31年開設)

- 合計約100室、約8,100㎡の研究開発型インキュベーションラボ
- 半導体・微細加工技術のオープンラボ  
クラス100及び10000のクリーンルーム
- 4大学(慶大・早大・東工大・東大)コンソーシアムによる産学連携
- 指定管理者による経営相談、販路開拓、マッチング等の支援を実施

### 量子イノベーションパーク実現に向けた取組の推進

- 令和3年7月 アジア初のゲート型商用量子コンピューター「IBM Quantum System One」  
NANO-BICにおいて稼働開始
- 令和4年8月 **量子コンピューターを使いこなす人材育成サマーキャンプを実施**  
4日間のキャンプに高校生24名が参加 <主催> 川崎市、日本IBM、東京大学
- 令和4年10月 **JST「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」に採択**  
量子ソフトウェアとスパコン、AI技術の融合による新産業とスタートアップの創出
  - 大学：東京大学、慶應義塾大学、理化学研究所、OIST、シカゴ大学
  - 自治体：川崎市
  - 企業：19社



IBM Quantum System One



量子人材育成サマーキャンプ


#### <令和5年度の取組>

「新川崎・創造のもり」を中心に、量子分野の最先端技術を活かして新たな産業を創出するイノベーションの推進や、量子ネイティブ人材の育成等に取り組む「量子イノベーションパーク」の形成

工場跡地の土地利用転換による工場立地が可能な用地の不足や住工混在の進展を踏まえ、工業系用途地域における製造業による持続的な土地利用の促進と、中小製造業者が市内で操業を継続するための取組を支援

2023(令和5)年度の取組

立地希望企業の調査と立地支援【継続】

課題	取組内容
①市内製造業事業所数の減少 ・10年間で約3割の減 ・狭あい化等により市内企業が市外へ移転  ②物件情報の不足 ・工業系用途地域の物件流通量が極めて少ない	企業情報の収集 ①市内企業の操業環境上の課題の把握 ・関係機関との連携による情報収集 ②市外企業の本市への立地希望の把握 ・市外企業へのアンケート調査とヒアリングの実施
	 <b>マッチング</b>
	物件情報の収集 ③空き工場・用地の調査と活用促進 ・準工業地域等の実態調査と工業用途での活用促進 ④宅建業者からの物件情報収集体制の確立 ・宅建業者とのネットワークの構築

中小製造業等の集積の維持・強化に向けた取組方針を策定

- <方針>
- ①準工業地域・工業地域における継続的土地利用の誘導
  - ②準工業地域・工業地域での開発における、民間活力を活用した産業集積等誘導施設の併設促進
- <具体的施策>
- ①大規模事業所の移転に関する事前相談制度（継続）
  - ②立地ニーズ等の情報収集・マッチング事業（継続）
  - ③まちづくり手法等も活用した取組促進
    - ・令和5年度は、中小製造業者やベンチャー企業の入居を想定した施設を開発する場合に、「総合設計制度の許可基準」に基づき容積率を加算する制度の創設を予定
    - ・地区の特性に応じて都市計画的な手法等も活用したまちづくりを推進

助成制度の運用【継続】

がんばるものづくり企業操業環境整備助成金

- ①立地促進助成  
 中小製造業者が市内の工業系用途地域に工場を新增設する事業に対する助成  
 助成上限額：3,000万円、助成率：1/10以内
- ②操業環境改善支援助成  
 中小製造業者が工場の操業環境を改善する事業に対する助成  
 （防音・防振・脱臭・浸水対策等）  
 助成上限額：300万円、助成率：3/4以内

地域による住工共生に向けた取組への支援【継続】

- ①オープンファクトリー（宮内・下野毛地区、久地・宇奈根地区）
- ②川崎ものづくりフェアin等々力



【立地促進助成の事例】  
堂本製菓(株) (川崎区田町)



【環境改善支援助成の事例】  
(株)阿部機械製作所 (ダクトルートの変更)



オープンファクトリー



川崎ものづくりフェアin等々力



# 経営支援課

## 3-2 中小企業の活性化 中小企業の事業承継・事業継続力の強化

- ・令和2年度から3年間、地方創生推進交付金を活用し、啓発や専門家派遣、後継者育成といった事業承継やBCP策定に向けた取組を支援。
- ・令和5年度からは、これまでの取組に加えて、伴走支援により小規模事業者の経営力を向上させ、円滑な事業承継を支援します。

### R2～4年度の取組

#### 1 対象者抽出・調査事業

経営者が60歳以上の企業データを抽出・購入し、アンケート調査を実施

#### 2 事業承継・事業継続力強化支援事業

- 啓発セミナー（事業承継・BCP策定）  
R2：事業承継1回、BCP1回  
R3：事業承継3回、BCP1回  
R4：事業承継3回、BCP1回、出張セミナー7回
- 専門家派遣  
R2：26社44回（事業承継：16社21回、BCP：10社23回）  
R3：31社43回（事業承継：27社36回、BCP：4社7回）  
R4：35社47回（事業承継：26社32回、BCP：9社15回）
- 後継者育成講座  
R2：19名 R3：20名 R4：20名 OB・OG会の開催
- BCP策定講座 R2：1回 R3：1回 R4：1回

#### 3 地域で連携したBCP策定支援事業

R2：モデル地域の選定、エリア毎のヒアリング・アンケート調査  
地域特性等の基礎調査、研修1回開催  
R3～4：企業単位・団体単位におけるBCP策定支援  
市域への波及に向けた地域連携BCPガイドラインの作成

#### 4 事業承継・事業継続力強化支援補助金

R2：5件 R3：6件 R4：4件

#### 5 KAWASAKI事業承継市場

個別訪問指導、出張講習会、事例集発行、セミナー開催等

### 令和5年度の取組

#### 1 事業承継・BCP策定支援事業

- 啓発セミナー・出張セミナー  
事業承継やBCP策定に関する啓発（年2回）  
金融機関や業界団体等と連携した出張セミナーの開催（年5回）
- 専門家派遣（1社につき3回まで派遣、全30回）
- 後継者育成講座（9回講座）
- BCP策定講座（年1回）

#### 2 小規模事業者経営力向上伴走支援事業

- 経営支援アドバイザー派遣  
小規模事業者を対象に伴走支援を行う経営支援アドバイザーを派遣。自社の経営課題の見える化から事業承継計画や経営計画の策定、BCP策定等の取組など、経営者の経営力向上のための支援を実施することで、5～10年後の事業承継の自発的な取組を促進する。  
派遣先：10社（公募） 派遣回数：各社月1～2回程度 年間150回

##### ※経営支援アドバイザー

経営状況や経営課題を把握し、事業承継に向けた経営改善を支援することで、承継方法をフラットな視点で提案でき、円滑な事業承継を支援する伴走型の支援人材。

- コーディネート支援人材育成  
中小企業経営者の身近な相談相手として事業承継の早期取組の必要性を伝え、経営支援アドバイザーによる伴走支援につなげることができる支援人材を育成するための勉強会を実施  
対象：地域金融機関及び支援機関の職員 実施回数：2回

#### 3 事業承継・事業継続力強化支援補助金

- 1件あたり、50万円以内
- 補助対象経費の1/2以内（小規模事業者は2/3以内）
- 対象事業  
・事業承継計画策定に向けた取組 ・M & Aによる第三者への引継（譲り受け側は除く）  
・事業継続計画策定に向けた取組 ・ISO22301（事業継続）取得に向けた取組

#### 4 KAWASAKI事業承継市場

- 個別訪問指導、出張講習会、セミナー等の開催

### 見えてきた課題

中小企業が円滑な事業承継を実現するためには、早期に事業承継の計画を立て、準備に着手することが不可欠

多くの経営者に準備の必要性・課題の認識（気づき）を与えることが重要

5年後、10年後に事業承継が必要な経営者へのアプローチが不足

経営者が身近なところで相談できる人材が必要

- ・川崎に愛着を持ちエリアを牽引する商業者が、多様な主体を巻き込み、自主的・自立的に再活性化を図るしくみの構築
- ・商業者のデジタル化など社会経済環境の変化を踏まえた地域課題への対応や、魅力ある個店の集積による、活力ある商業地域の形成

2023(令和5)年度の取組

商業力強化事業

- 地域の中核的な担い手等と連携し、地域商業のにぎわい創出を担う次世代の商業者を発掘・育成する取組として「かわさき店舗出店支援プログラムNOREN(のれん)」を実施
  - ・創業者育成プログラム事業
- デジタルツールの使い方を伝える講習会や、デジタル技術を活用した非接触型サービスの導入や新たな販路開拓等の事業展開を支援するなど、商業者のデジタル化を推進
  - ・デジタル化講習会開催事業
  - ・魅力あふれる個店創出事業
- 意欲ある商業者による新商品開発、業態転換などを支援し、地域価値を高める商業地域の形成を推進し、商業の活性化を図る。
  - ・魅力あふれる個店創出事業(再掲)
- 意欲ある商業者の認知度向上を目的に、市民参加型で のイベント「かわさきAKINAI AWARD」を実施するとともに、名産品フェア「Buyかわさきフェスティバル」を開催
  - ・商業者PR事業
  - ・Buyかわさきキャンペーン事業費
- 商業者を対象としたワークショップ等により、商業者の課題解決やモデルケースの展開などを促進するとともに、商業者同士のネットワークの構築を図る。
  - ・商業者ネットワーク構築事業費
- 市民の公衆衛生に不可欠な公衆浴場への支援を通じて、公衆浴場の活性化や地域におけるコミュニティ機能の向上を推進
  - ・公衆浴場経営安定等支援事業費



魅力あふれる個店創出事業  
令和3年度活用事例



AKINAI AWARD 表彰式

商店街活性化・まちづくり連動事業

- 街路灯LED化等による機能向上や老朽化した街路灯の撤去等、商店街の施設整備への支援を実施
  - ・川崎市商店街施設整備事業補助金
- 商店街や商業者グループ等が抱える様々な課題に対して、各分野の専門家を派遣し、研究会・講習会の開催を通じて、課題解決に向けた助言等を実施
  - ・商業アドバイス事業
- 商店街等が実施するウィズコロナ・ポストコロナを踏まえたイベントや、商店街や地域の課題解決を目指し地域の団体等と連携して実施する取組への支援を行うことで、地域の活性化や魅力ある商業地域の形成
  - ・川崎市商店街魅力アップ支援事業補助金
  - ・川崎市商店街課題対応事業補助金
- 川崎駅周辺地区において、多様な主体と連携を図りながら、地元商業者等が主体となって開催するイベント等への支援を行うことで、都市ブランド力のある商業地域の形成や市内外への地域の魅力発信
  - ・川崎駅周辺商業ネットワーク事業費
  - ・中心市街地活性化マネジメント事業費
- 商店街の育成・発展のため商店街連合会の活動を支援
  - ・川崎市商店街連合会補助金
- 大規模小売店舗立地法の適正な運用により周辺環境を保持
  - ・大規模小売店舗立地法運用事務費



街路灯のLED化  
(鹿島田商店会)



夏祭り  
(民家園通り商店会)

都市農業を取り巻く情勢の変化を踏まえ、「川崎市農業振興計画」に基づき、農業者が都市的立地を活かした農業経営を行い、川崎の農業を次世代に引き継ぐための取組を推進

農業振興計画に基づく主な取組

【基本目標】次世代に引継ぐかわさきの「農業」～農を育て・創り・活かし、繋ぐ～

基本戦略① 持続的・自立的な農業経営に向けた支援

- 持続的な農業育成に向けた担い手育成
  - ・援農ボランティアの育成・活用
  - ・農業経営高度化支援事業（経営高度化に関する補助金、専門家派遣）
- 農業力向上に向けた支援
  - ・新品種や新しい栽培技術等の各種試験研究、普及の実施
  - ・経験の浅い農業者等へ向けた栽培技術向上のための講習会の実施
  - ・経営力向上に資する研修事業の実施
- 新規就農者に向けた経営支援等の実施
  - ・農業経営開始に必要な機械や設備等の導入支援
  - ・新規就農者を雇用する農業法人を対象とした施設整備等への支援
  - ・JA等の関係団体と連携したマッチングの実施



かわさきそだち  
栽培支援講座

川崎市農業経営高度化支援事業補助金  
令和4年度の補助金による導入事例（イチゴ高設ベンチ）



基本戦略② 農業振興地域等の活性化

- 農業振興地域の活性化
  - ・4つの農業振興地域（黒川東、黒川上、岡上、早野）ごとの特性に応じた活性化策
- 農地利用の最適化の促進
  - ・遊休農地の発生防止・解消、担い手への農地利用の集積・集約化等の推進
- 農業用施設等の長寿命化（ストックマネジメント）
- 利用権設定等農地の貸借の推進による都市農地の保全



早野地区の活性化  
【直売】



農業用施設等の長寿命化  
【黒川海道灌漑施設】

基本戦略③ 多様な主体との「共創」による「新たな農業価値」の創造

- 多様な主体との連携の充実
  - ・農業者と他分野の交流が新たな連携につながるよう「かわさき都市農業活性化連携フォーラム」を開催
- 農工商等連携の推進
  - ・農業者へのヒアリングの実施
  - ・フォーラムのアンケート等をもとに課題を整理し、農業者や農業分野に関心のある企業、団体等へ訪問
  - ・農工商等個別マッチングの支援
  - ・他業種や地域資源との連携・協力による解決策などを提案するマッチング・フォローを実施
- 市政100周年記念事業・全国都市緑化フェアに向けた情報発信
  - ・市内産農産物「かわさきそだち」PRと都市農業の理解促進
  - ・農産物の栽培体験等の実施を通じて古くから伝わる郷土野菜を次世代に継承



農産物・農産物加工品販売イベント  
TABI-MICHI FESTIVAL (R5.3.12)



第12回かわさき都市農業活性化  
連携フォーラム (R5.3.12)

基本戦略④ 多面的機能を有する都市農地の維持・保全と活用

- 農環境保全・活用
  - ・里地里山を活用したグリーンツーリズム事業の実施
  - ・生産緑地地区の指定促進
    - ①広報・周知
    - ②特定生産緑地指定の申出の受付
- 「農」に関するイベント等の効果的な展開
  - ・花と緑の市民フェア
  - ・ファーマーズクラブ農業体験事業
  - ・都市住民と青年農業者とのほ場での交流
  - ・農福連携
  - ・福祉交流農園収穫体験イベントの開催
  - ・体験型農園推進事業
  - ・農地の有効活用及び農業経営の安定化を図るとともに、市民に農業体験の場を提供することにより都市農業への理解促進に寄与



第51回花と緑の市民フェア  
(R4.5.14~15)



ファーマーズクラブの農体験



# 中央卸売市場北部市場 安定的かつ効率的な生鮮食料品等の供給と市場の機能更新

首都圏全体の生活を支える社会インフラ・食品流通拠点として、市民に安定的かつ効率的に生鮮食料品等を供給する。

## 卸売市場経営プラン改訂版に基づく主な取組

### 川崎市卸売市場経営プラン改訂版

- 2016(平成28)年2月、卸売市場の位置付け・役割、機能強化の方向、市場の設備、市場運営のあり方を定めた「卸売市場経営プラン」を策定。
- 2019(令和元)年6月、取引規制等の大幅な緩和を伴う卸売市場法の改正を踏まえ、プランを改訂。
- 改正卸売市場法が与える影響を注視しながら、消費者のニーズに合った商品を安定的に供給する卸売市場の社会インフラとしての基本機能を強化するほか、持続可能な経営の確保に向けた取組を進める。

### 市場ごとのビジョン

北部市場：首都圏における広域的食品流通の拠点

南部市場：地域密着型食品流通の拠点

### 施策の方向性

- 消費者ニーズに合った商品を安定供給するための基本機能の強化
- 市場に求められる社会的機能の発揮
- 効率的な機能維持手法の確保
- 規制緩和を活かした市場運営



### プラン推進に向けた主な取組

- 新たな取引ルール下での指導監督業務や活性化事業の推進  
(新たな取引ルール下での指導監督業務、活性化事業・花育講座、関連朝市等)
- 北部市場の機能更新に向けた検討
- 南部市場の今後の運営方針に係る検討

## 北部市場の機能更新に向けた検討について

### 1 概要

- 施設の全体的な老朽化への対応、時代の変化に伴う消費者ニーズの変化への対応、災害時の支障物資拠点機能の強化などを図るため、施設の全体的な機能更新を検討。
- 機能更新の際は、併せて卸売市場の維持管理・運営の効率化、卸売市場事業特別会計の健全化の実現を目指す。

### 2 基本計画(案)作成にあたっての「主要課題」

#### (1) 取扱量推計と市場施設規模

取扱量実績を元にした推計と場内事業者の経営計画を踏まえた補正により将来的な取扱量を算出。主要売場施設全体の規模は現状比の90%に設定。

#### (2) 市場機能連携エリア(余剰地)活用の方向性

市場機能との親和性等から、食品流通・加工・配送センターなど、従来の卸売市場の延長線上の使い方を基本としつつ、周辺地域への交通等の影響を踏まえながら、地域との親和性の高い機能・施設等も提供することを決定。

#### (3) 整備内容・事業手法

場内事業者・開発業者等との意見交換を踏まえ、今後の詳細検討のベースとする検討案(エリアを3分割、複層化、仮移転、約8年のローリング工事モデル等)を決定。

### 3 今後のスケジュール

- 令和5年度中の「北部市場機能更新に係る基本計画」の策定を目指し、内容の精査及び関係者との意見調整等を進める。

## 南部市場の今後の運営方針に関する検討について

### 1 概要

- 現在の南部市場は、2014(平成26)年度から指定管理者制度を導入し、効率的な運営と創意工夫を凝らした市場活性化を進めている。
- 一方で、場内の多くの施設は昭和40～50年頃に整備されており、老朽化が進展している。修繕等に対応しているが、抜本的な対策が必要であり、財源等の課題がある。
- 加えて、経営プランが2025(令和7)年度で終了するため、指定管理者制度の継続等を含め、今後の運営方針について検討を行う。

### 2 想定スケジュール

- 附属機関への諮問・答申を経て、令和6年度中に(R8年度以降の)運営方針を決定する。



北部市場北門・管理事務所棟



南部市場正門

1 課題

- 本市の労働生産性は全政令指定都市の中では1番高く、市内中小企業において取組みを進めている企業は着実に増加しているが、その割合は未だ半数に満たず（約45%）、更なる成長の余地がある。
- 市内中小企業が働き方改革・生産性向上に取り組む上で課題となっていることに、「担当する社員がない」「資金がない」「効果を期待できない」「何に取り組めば良いのかわからない」があげられている。

2 課題に対する現在の施策

上記の課題に対しては、現在の施策で対応しているが、「担当する社員がない」に関しては、社内人材の育成が必要であり、現在の施策の支援策では十分な対応ができていない。

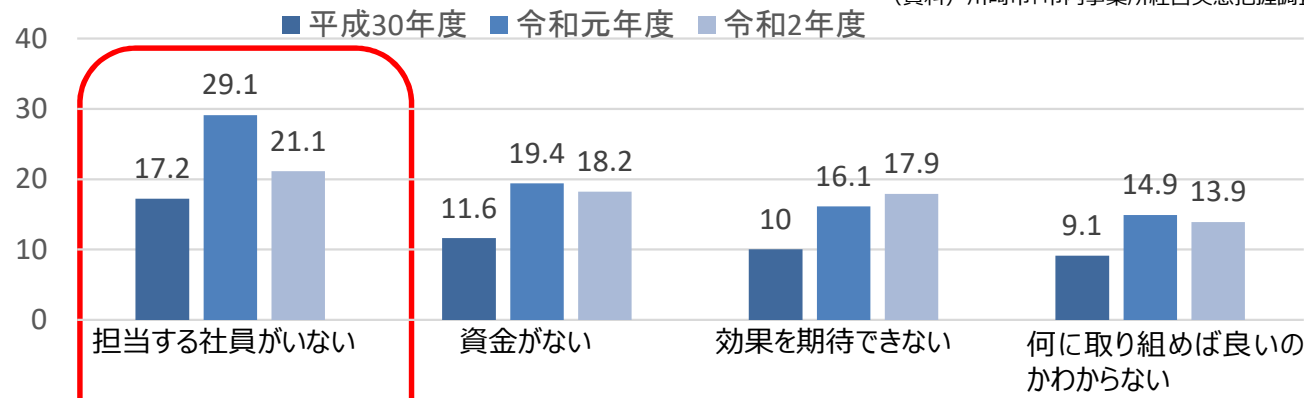


目指すべき方向性

ICT導入などによる働き方改革・生産性向上と並行して、デジタル人材等の確保・育成が求められる。このような人材育成が企業のDX化へも不可欠。

生産性向上に取り組む上での課題（複数回答）（上位4回答抜粋）

（資料）川崎市「市内事業所経営実態把握調査」



上記課題に対してのアプローチは中小企業の継続した働き方改革・生産性向上の取組につながる。

- デジタル化推進補助
- 先端設備導入補助
- 融資制度（設備強化支援）
- 働き方改革・生産性向上事例集
- 働き方改革・生産性向上事業者表彰
- 専門家派遣・セミナー

コーディネート業務（支援事業全体を伴走支援）



2023(令和5)年度 of 取組

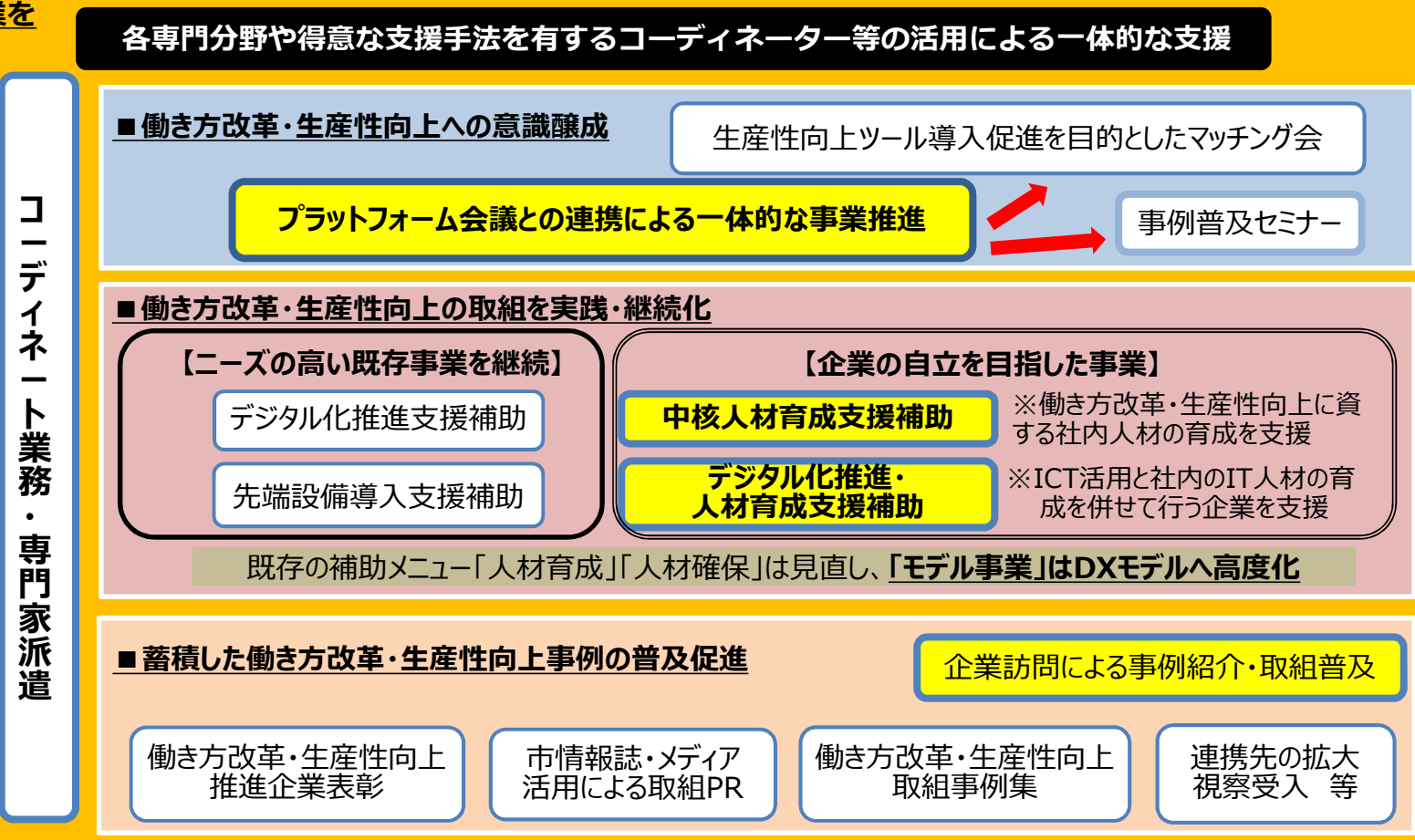
- ・ 市内中小企業の自立的・持続的な成長に向け、「働き方改革・生産性向上」の取組は途上であり、既存事業の見直しと新たな視点を加えて、継続する。引き続き事業の進捗に合わせた見直しを行い、民間機関の連携を強化
- ・ 企業の自立的・持続的な取組を促すための社内人材・社内デジタル人材の育成を強化
- ・ モデル事業で創出した事例の普及促進を図るとともに、今後はDXのパイロットモデルとなる事例の創出を実施

3つの視点で事業をさらに発展

掘り起こし  
意識醸成

実践  
導入促進

広報・普及促進



市内中小事業者が、海外需要を積極的に取り込んで成長につなげていけるよう、海外展開を支援

2023(令和5)年度取組

相談対応	<p><b>川崎市海外ビジネス支援センター</b>〔略称：KOBIS（コブス）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門のコーディネーターによる相談対応支援</li> <li>・川崎市産業振興会館内に設置</li> </ul>	 <p>【KOBISコーディネーター】</p>	<p>臨時交付金活用事業「越境EC等促進事業」〔令和4年度補正〕</p>	<p><b>越境ECモール出品代行支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中小企業31社(令和5年5月現在)の商品を取扱う「KAWASAKI CITY STORE」を世界190カ国に連携する越境ECモール内に設置</li> <li>・顧客対応や国際配送等を越境ECコンサルタントに委託する「出品代行支援型」を採用</li> <li>・越境EC専門家から出品企業に対し、定期的にフィードバックを実施</li> </ul>																						
	<p><b>国際会計・税務・法務等の専門相談</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外の専門コンサルティング会社と提携</li> </ul>			<p><b>越境EC活用型テストマーケティングイベント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ショールームストアをカンボジア（R4.12～R5.12）アメリカ（R5.9）にて開催</li> <li>・現地支援機関等との連携により、現地バイヤーへのPR等を実施</li> </ul>																						
ビジネスマッチング	<p><b>海外現地企業との商談会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度はタイ・台湾・ベトナムの現地企業と現地・オンラインで開催</li> </ul>	 <p>【ビジネスマッチング支援】 (台湾工業技術研究院にて)</p>																								
	<p><b>海外ビジネスマッチング支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東南アジア、ドイツ等でのパートナー候補とのアポイントメント取得支援</li> </ul>																									
	<p><b>輸出商社との商談会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門商社等との国内での商談会を開催</li> </ul>			<p>【ショールームストア】(左)R5.3シンガポール、(右)イオンモール・カンボジアのポップアップイベントにて</p>																						
情報提供	<p><b>海外ビジネスセミナー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業のニーズを踏まえ、海外情勢に関するセミナーや企業間の協業を促す交流会等を開催</li> </ul>	 <p>【海外展示会出展を支援】 (例：タイ METAREX)</p>		<p><b>プロモーションの実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスメディアやSNS等を活用した効果的な販売促進を実施</li> </ul>																						
	<p><b>グローバル展開支援事業補助金</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>補助対象事業</th> <th>補助率2/3以内</th> <th>限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>国際的な電子商取引（越境EC）の取組</td> <td></td> <td>40万円 ※50万円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>海外事業者とのオンライン商談等の取組</td> <td></td> <td>20万円 ※30万円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>海外へ販路開拓や拠点設立に向けた現地調査</td> <td></td> <td>10万円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>海外で開催される展示会等への出展</td> <td></td> <td>20万円 ※30万円</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>海外展開に必要な国際認証等の取得</td> <td></td> <td>40万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※重点事業 次のいずれかにあたる認定・認証・技術を要する企業の限度額 「川崎ものづくりブランド」「低CO2川崎ブランド」「かわさき基準（KIS）」「かわさき名産品」</p>				補助対象事業	補助率2/3以内	限度額	1	国際的な電子商取引（越境EC）の取組		40万円 ※50万円	2	海外事業者とのオンライン商談等の取組		20万円 ※30万円	3	海外へ販路開拓や拠点設立に向けた現地調査		10万円	4	海外で開催される展示会等への出展		20万円 ※30万円	5	海外展開に必要な国際認証等の取得	
	補助対象事業	補助率2/3以内		限度額																						
1	国際的な電子商取引（越境EC）の取組			40万円 ※50万円																						
2	海外事業者とのオンライン商談等の取組			20万円 ※30万円																						
3	海外へ販路開拓や拠点設立に向けた現地調査		10万円																							
4	海外で開催される展示会等への出展		20万円 ※30万円																							
5	海外展開に必要な国際認証等の取得		40万円																							
助成制度	<p><b>コンテンツグローバル化促進事業補助金</b></p> <p>①外国語の資料・ホームページ等作成、②PR動画等作成、③契約資料等の作成・翻訳に対して作成費用の2/3以内、20万円までを補助</p>																									

川崎国際環境技術展やグリーンイノベーションクラスター等において創出されたビジネスシーズの事業化に向けた支援や、中小企業の環境関連分野への新事業展開・販路開拓等支援の実施

### 2023（令和5）年度の取組

#### グリーンイノベーションクラスター

川崎市とクラスター会員が協働し、それぞれが持つ環境技術、ノウハウを活用しながら、社会経済環境の変化への適応と持続的な地域経済の構築を目指すネットワーク  
会員間のビジネスマッチングや、市内中小企業の環境関連分野への新事業展開・販路開拓等を支援

#### 事業内容

環境技術・ノウハウ等を活用したビジネスの創出支援（継続）

- ◆ 会員間・市内各種ネットワークとのビジネスマッチング機会の提供
- ◆ マッチングしたプロジェクトの事業化に向けた伴走支援の実施



（例）会員交流会の開催



（例）国内、海外企業/機関へのPR機会の提供

市内中小企業のサステナブル経営を支援するための新事業展開・販路開拓等支援

- ◆ 新たな技術革新や販路開拓、環境関連ビジネスへの経営の多角化を支援
- ◆ 環境配慮型の取組みのPR支援

（支援例）

- 商品/サービスをCO2削減につながる商品/サービスにシフトしたい

従来



エンジン部品



- ・ 技術アドバイザーによるアドバイス
- ・ 補助金活用の提案 等

転換



EV向け部品

#### 事業内容の拡充に伴う制度の見直し

- 【会員誘致】 SDGsパートナー制度と連動した誘致活動を実施
- 【支援事業】 従来の協業の形に限らず、個社による新事業開拓も対象として拡大

#### 川崎国際環境技術展

市内中小企業等の市場開拓、販路拡大等に向けて、脱炭素等に資する環境技術等の展示、環境ビジネスに関する講演、ビジネスマッチング会などを実施し、川崎から幅広く情報発信するとともに、グリーンイノベーション創出に繋がる、ビジネスマッチングの場を提供

#### 令和4年度 第15回川崎国際環境技術展の開催概要

3年ぶりにカルッツかわさきにてリアルで開催

開催期間：令和4年11月17日・18日

出展団体：114団体

来場者数：約4,150人

ビジネスマッチング件数：653件



#### 令和5年度 第16回川崎国際環境技術展に向けて

開催時期：令和5年11月15日・16日 開催会場：カルッツかわさき

今後、2050年の脱炭素社会実現に向けたグリーン・イノベーション創出や、2030年のSDGsの目標達成に向け、開催目的等の見直し、「脱炭素社会の実現」と「持続可能な経済成長」の両立を目的とし、持続可能な未来に向けて、グリーンイノベーションを創出していく、シンボリックなイベントとして実施予定。

環境ビジネスに関心ある出展者、来場者をターゲットに、ビジネスマッチングの機能拡充などを検討

- 出展者/バイヤーの名刺交換会
- 支援機関・関係機関との連携強化
- マッチングエリアの拡充
- 出展者ピッチの実施 等



新たな観光資源の創出、充実等に取り組むとともに、国内外に向けた戦略的なプロモーションを推進することにより、市内の観光振興を推進

2023(令和5)年度取組

ナイトタイムエコノミーの推進

地域の経済活動を喚起させる「ナイトタイムエコノミー」の取組により、インバウンド需要の取り込みを促進

- 市内の飲食店等が集う川崎駅周辺でのナイトマーケット（川崎夜市）の開催
- インバウンド需要を取り込むための高付加価値コンテンツを活用したプレミアムツアーの造成
- 外国人観光客の決済手段として利用されているキャッシュレス決済のデータ収集・分析及び当該分析に基づくプロモーションの実施



川崎夜市

産業観光の推進

産業観光ツアー、工場夜景ツアーを推進するとともに、全国の工場夜景都市と連携した取組等を実施する。また、全国各地への教育旅行誘致活動を実施

- 産業観光振興協議会による官民連携での産業観光推進
- 様々なメディア露出による川崎工場夜景のPR
- 「ようこそ！かわさき検定」の継続実施
- 産業観光ガイド・工場夜景ナビゲーターの養成を通じた市民参加による観光振興
- 市内発着工場夜景ツアーへの協力
- レストランバスと連携した新規ツアー造成の検討
- 観光関係事業者に対する国補助制度の周知・支援
- 市内宿泊施設等と連携した教育旅行誘致の推進



ようこそ！かわさき検定



レストランバスと工場夜景

観光資源の魅力発信・プロモーション

本市の多彩な観光資源の魅力を発信するため、様々な手法を活用したプロモーションを実施

- 他自治体等と連携したプロモーションの推進
- ホームページや川崎駅周辺多言語ガイドマップのほか、SNS（Facebook, Instagram, Twitter）やメディア等の活用による情報発信
- 都内等の観光案内所等への本市観光情報の提供による観光客の誘客促進
- 「川崎駅北口行政サービス施設（かわさき きたテラス）」における多言語による観光案内の提供



外国人向けFacebookページ「Discover Kawasaki」

※かわさき きたテラス利用状況（2022年4月～2023年3月末現在、単位：人）

総来館者数			利用用途		
日本人	外国人	合計	観光案内等	バス	行政サービス
218,313	3,170	221,483	102,078	66,889	52,516

川崎市制記念多摩川花火大会の開催

令和元年度を最後に中止が続いた川崎市制記念多摩川花火大会を4年ぶりに開催する。昭和初期から市民に親しまれ、市制施行を祝うとともに、「ふるさと川崎」の意識の高揚を図り、豊かな市民文化の創造を目指して実施している。

令和5年度は、令和6年度の市制100周年に向けた記念事業（イベント）として開催

- 令和5年度は100周年イベントとして、打上花火の動画撮影及び配信を実施
- 世田谷区たまがわ花火大会と合同開催（予定）
- 開催時期：令和5年10月21日（土）
- 会場：多摩川河川敷（国道246号線二子橋～第三京浜道路）
- 来場見込：222,000人（令和元年度主催者発表）
- 主催：川崎市、川崎市観光協会、高津観光協会



川崎市制記念多摩川花火大会